
中学生たちの春

大賀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中学生たちの春

〔π-τ〕
27109A

【作者名】

大賀

【めりすじ】

中学校に入学してからもう3ヶ月。友達とも仲良くなり、お楽しみの夏休みが迫ってきた。そんななかで、主人公一沙也香にも春が

興奮 そしてため息（前書き）

この作品は、オレの友達を参考にして書いて見ました。中学生は、思春期にも入り、いろいろとイヤゴザがあるんです。友達のことだつたり、好きな人のことだつたりーまだまだ文章能力もないオレですけど、読んでいただければ嬉しいです！よろしくお願ひします。

興奮 そしてため息

中学校に入学してから早3ヶ月。とうとう夏休みまであと8日だ。

小学校の頃はあまり仲がいいとは言えなかつた友達とも、クラスが同じになつたからか、仲良くなつた。

「サヤ…沙也香ー サヤカー？」

そう、あたしの名前は沙也香。友達ほとんどの人があたしのことをサヤと呼んでいる。たぶん、サヤと呼んでいないのは先生たちぐらいだろう。

「何？ 何か言つた？」

「ああ、 、ちゃんと聞いてよお！」

中学校に入つてから仲良くなつた、南湖ーなこーちゃん。ちなみに、同じ小学校出身だ。

「ゴメン、ゴメン。 はいつ、何？」

「だからねえ、 神坂先輩があ…」

南湖ちゃんには今、春が訪れていた。

三年生の神坂 卓也ーかみさか たくやー先輩。 その人が、南湖ちゃんの好きな人だ。 あたしから見ても、 けつこうイケメンランクに入る。 色白だし、 小顔だし。 南湖ちゃんは、 卓也先輩を見るだけで興奮しだしあたしに話てくる。

まあ、 それだけ頼つてくれているということなのだろう。

「卓也先輩と、 今、 目があつちやつたんだよおー！」

この通りの興奮ぶり。

「えつ、 いついつ？」

でつ、 おもわずのつてしまつあたし。 だから話があつなのだろう。

「ン？ なんだつてえ？」

横からひょっこり現れたのが、 幸谷ーこうやー。 この間の席替えで隣になつたばかりの子だ。 坊主頭、 だけど、 シャイで、 かわいい！ 放課後の2人だけだつた静かな教室が、 なんとなく幸谷が来て明る

くなつた気がした。

「なつ、なんでもない！ていつか、今の話聞いてないよねー…？」

動搖する南湖ちゃん。

それによつとこやける幸谷。

南湖ちゃんの赤面。次の瞬間、南湖ちゃんの手が幸谷の肩にのびて
いた。

「お願いだからー絶対誰にも言わないで…！」

興奮 そしてため息（後書き）

ありがとうございます！後書きを読んで下さったといつゝとは、本文もよんديただけつたつてことでしょうか？あつ、スマセソ。良ければ、オレにアドバイスよろしくお願ひします。お待ちしてます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7109a/>

中学生たちの春

2010年11月27日13時02分発行